



西地域包括支援センター あかさかやま 看護師

岡本 綾香

OKAMOTO AYAKA

1979年 柏崎市出身
2013年 社会福祉法人 柏崎市社会福祉協議会
に看護師として勤務
2019年～ 柏崎市西地域包括支援センター あかさかやまに勤務

現在、柏崎市内7カ所に設置されている「地域包括支援センター」は、地域に居住する主に65歳以上の高齢者や家族の身近な相談窓口。住み慣れた地域で長く生活ができるよう、介護・福祉・健康・医療といったさまざまな面から支援を行うための拠点。

大洲、剣野、鯨波、米山、上米山のエリアを担当する「西地域包括支援センター あかさかやま」は、市内・赤坂山公園近く、赤坂山デイサービスセンターの2階にある。

こちらに勤務して4年目になると話す、岡本綾香さんは看護師。東京都内の大学病院、神奈川県内の総合病院の勤務を経て、地元で子育てをしたいと柏崎市へUターンした。

地元に戻ってからは、社会福祉協議会に所属。同会が運営する「ゆたか訪問看護ステーション」で訪問看護の仕事に6年間従事した。訪問看護では市内のさまざまなお宅へ出向き、担当医師の指示で点滴や薬のセット、床ずれのケア、認知症ケアや家族のケア、看取りの仕事を行ってきました。大学病院での勤務とは全く違う、

どんな環境でも医療を提供する在宅看護の経験は岡本さんにとって戸惑うことや悩むこともあったが、そこで学んだことが今、地域包括支援センターで働く上での大きな糧となっている。

相談を受ける時、初めてお宅へ伺う時は、「利用者さんが何に困っているのか、何が心配なのかをできる限り早くキャッチしたい」という。そのために目や耳、全身すべてのアンテナを立て、「目を見て、その人の話すスピードに合わせながら、あなたのことに関心があるよ、という気持ちを伝えるように接しています」と話す。

「西地域包括支援センターあかさかやま」のスタッフは看護師の岡本さんの他、主任介護支援専門員、社会福祉士の三職種とプランナー、事務員の計5名。他の地域包括支援センターと同じく相談は三職種いずれかの担当が対応して内容を共有。それぞれが専門的な立場からアプローチを行い、関係各所と連携を取りながら、地域の高齢者やその家族の問題に力を合わせて対応している。もちろん相談は無料。ただ、実際は、「気軽に相談してくださいね、と言うけど柏崎の人たちは我慢強いですから。電話や相談をしてきてくれたことに『ありがとう』っていうのも思うんです」と岡本さんはほほ笑む。今、力を入れているのは地域への啓発活動。転倒予防や認知症予防、フレイル予防など健康寿命を延ばすための活動、介護保険制度の講座などを三職種で相談しながら行っている。また、くらしのサポートセンターでの健康相談会や情報交換を通じて援助員の方々と連携、協力している。町内会、民生委員、くらしのサポートセンター、地域包括支援センターが一体となり共に地域を支え、見守っている。

お問い合わせ

柏崎市西地域包括支援センター あかさかやま
(柏崎市社会福祉協議会 介護支援事業課)

柏崎市赤坂町4-56

☎0257-41-5612 📠0257-41-5613

営業 月～金 午前8時30分～午後5時15分

*土・日・祝・年末年始は休み

センターへご相談の際は電話にてご連絡をお願いします
大洲、剣野、鯨波、米山、上米山にお住いの方が対象になります